

保険代理店M社

■会社概要

業種	保険代理店
社員数	約300人（令和4年3月現在）
障害者の テレワーク状況	障害者雇用0人

■実習生概要

年齢	20代後半
性別	女性
障害種別	精神保健福祉手帳3級（パニック障害） ・公共交通機関を利用して外に出る事が難しいため、在宅勤務を希望 ・PCスキルに長けると共に、手先が器用で細かい作業も可能。

■実習の概要

実習の経緯	顧客へのDMの三つ折り業務やPCを使った入力作業を用意しました。希望者がパニック障害という事で、通勤に困難があるため在宅での実習を用意しました（発送作業に関する三つ折りなどの作業は、職場を見学してもらったときに確認）
-------	--

実習内容	エクセル、ワード、パワーポイントでのデータ作成 作業時間を決め、その時間内で作業ができるか否かを確認。また、できなかった時の報告タイミングや、手段などを確認。
実習結果	制限時間内で最後まで実施できたのはエクセルのみでしたが、時間に余裕があった為、30分間で残りの課題を取り組むよう指示し、ワード課題を提出してもらいました。 課題のメールのやり取りでは、短文が多かったですが、丁寧な言葉遣いをされていて、今後のコミュニケーションに問題がない印象でした。また、フォント以外は指定をしなかった為時間がかかったようでしたが、誤字脱字もなく、丁寧に一つ一つ取り組まれていると感じました。
本人コメント	在宅の仕事が想像よりも大変なことに気づけた。最初は少し不安に思っていたのですが、午後からも残りの課題をスムーズに実習に取り組めた。
支援員コメント	障害特性上、初対面の方とのコミュニケーションに不安がありましたが、在宅実習という事でリラックスできたのが良かったと思います。
その他	実習後入社 入社後は、チラシの仕分けやファイルの部品取り付け等を中心に、お仕事をやっていただいております。月1回、全店舗への資材発送での資材の為、丁寧に仕分けをしていただけて大変助かっております。

金融系コンサルタントA社

■会社概要

業種	ファイナンシャルコンサルティング業
本社所在地	名古屋市
社員数	約20人（令和4年3月現在）
障害者のテレワーク状況	障害者雇用0人
実習の経緯	障害者の雇用義務が発生する規模の会社ではありませんが、ダイバーシティ、CSR観点から新たに障害者雇用を検討し始めました。令和3年11月に社内の事務補助で実習を受入れましたが、残念ながら採用には至らなかったため、その後、勤務形態の選択肢を増やすために在宅での採用も視野に入れ、在宅実習の受け入れを決定しました。 今回、受入れた方は、本社に通勤してもらった実習だけでも良かったのですが、体調に波があり出社が難しくなった時も想定して、在宅でも勤務できるように通勤と在宅を組み合わせた実習としました。

■実習生概要

年齢	20代半ば
性別	女性
障害種別	精神保健福祉手帳2級（統合失調症） ・現在は体調面は安定。 ・気分によって躁状態になったり、うつ状態になる場合があります。 ・コミュニケーション的には問題無し。 - 話し方や接し方、報連相もしっかりと出来ます。 - 指示理解も早く、作業も指示通り行えます。 ・過集中になる傾向があります。 文章を書くのは得意で、オフィスワークシュミレーションという実践的な訓練においてもブログの作成等を行っており、周囲からも作成した文章に関して評価を受けています。

■実習の概要

実習内容	《事務補助》 顧客向けニュースレター、メールマガジンの記事作成、校正、配信手続き。 毎回、あるテーマを決め、それに合致する記事の紹介がメインとする。1,000文字程度のコラムを書き上げる。 入社時と在宅時で基本的な仕事内容は同じ。
貸与物	ノートPC
実習結果	在宅時は、google worksのチャット、オンライン会議のツールなどを使用しました。在宅実習の場合はツールを使っても進捗が見えないので、在宅の時は成果物が挙がってくる作業をメインにお願いしました。 3日間で1,000文字コラム3本を目安としていましたが、5本のコラムを書き上げた上に品質的にも十分合格点となる内容でした。
本人コメント	就労移行支援事業所に通い始めて、初の実習。久しぶりの会社の雰囲気です。少し緊張しました。 就労支援事業所でも在宅での訓練はしていますが、訓練という事で気が緩んでしまい集中できないことがありました。今回の企業実習では自分で思っている以上に集中して作業ができたのが良かったです。ただ、在宅だと相手の状況が分からないので、声かけのタイミングがつかめず、困った時に直ぐに解決できなかったことが、今後の課題かと思っています。
支援員コメント	PCスキル等も一般的なレベルで操作でき、理解力も高い方なので、通常の作業においては支障になることはありません。今回の実習で体力がどこまで続くか把握できればと思っていました。企業側のご指導が丁寧であったため、在宅でもスムーズな実習ができました。今回、実習をさせていただき得意な事を活かせる職場という事が判明したと同時に、特性である過集中になってしまう場面や実際に仕事を行う事でどれくらいの疲労が蓄積されるかを知る事が出来ました。そういった観点からもやはり実習をさせていただいた事に関してとてもありがたく感じました。
その他	

テストエンジニアリングT社

■会社概要

業種	自動車部品の開発・設計・試作・評価
本社所在地	名古屋市中村区
社員数	約500人（令和4年3月現在）
障害者のテレワーク状況	障害者雇用2人（身体、事務職） 以前から在宅勤務の導入準備を進めており、障害の有無に関わらず既に多くの社員が在宅で勤務しています。
実習の経緯	その中には、重度身体で在宅勤務の従業員が在籍していることから重度身体の方の在宅での採用を検討していました。ハローワークから、車いすを利用されているため、バリアフリーでの事務職を希望されている方をご紹介頂きました。当社はバリアフリーに対応していないため、在宅勤務を検討していただき、今回の在宅実習になりました。

■実習生概要

年齢	20代
性別	女性
障害種別	身体障害者手帳1級（下肢、車いす） ・PCスキル：入力程度 ・過去、他社で事務員での職歴あり

■実習概要

実習内容	情報漏洩の可能性を下げるため、実際の業務データを用いた実習ではなく、社内研修用の課題（ワード、エクセルの入力業務から関数まで幅広く）を利用した実習。 わからないことがあった時は、電話やメール、Zoomなどで企業に質問、解決。用件ごとに連絡先を明確化。
貸与物環境整備	PCなどの周辺機器は企業から提供（宅急便で自宅へ送る）。Zoomの設定などのマニュアルも同梱。通信回線は自己負担。
本人コメント	当初はZoomの使い方も全く分からない状況だったが、Zoomを使っただけの実習を行うことにより、会社内の様子が確認できたり業務に対する質問も適宜対応してもらったり、自己管理・自己完結もできたことで不安が払拭された。
支援員コメント	実習が始まる前は、PCの設定など不安でいっぱいだったため、実習初日に支援者が立ち合い、PCの使い方をレクチャーしましたが、実習に入っただけで、特に問題も無く順調に進みました。
企業コメント	実習では「できる・できない」を見るのではなく、その方が「困った時にどう報告・どう対応するか？」に注視しています。
その他	実習後入社 入社当初2週間に1回だった支援員の支援は、今は月に1回のペース。定期的な電話での状況確認。

特例子会社M社

■会社概要

業種	特例子会社
本社所在地	名古屋市熱田区
社員数	26人（令和4年3月現在）
在宅勤務の状況	<p>特例子会社である当社は、障害のある方々が生き生きと働ける社会を実現する為に「働く」に関する困りごとを解決し、人を幸せにする。人が幸せに生きていける社会を創り、私たち自身も幸せになる事業を目指しています。</p> <p>こうした取り組みの一環として、在宅勤務やサテライトオフィスを導入し、働きやすい環境作りに取り組んでおり、特別支援学校からの職場体験なども積極的に受入れています。</p> <p>また、障害者の活躍できる職域を広げる取り組みとして、初心者でも比較的取り組みやすい業務改善ツールRPA（Robotic Process Automation）を導入し、技術者育成・教育に努めています。</p>

■実習生概要

年齢	30歳
性別	男性
障害種別	<p>精神保健福祉手帳2級（双極性障害Ⅱ型、アスペルガー症候群）</p> <p>小学校の頃から引きこもり状態を繰り返し、平成26年に受診、双極性障害Ⅱ型、アスペルガー症候群と診断。</p> <p>大学中退後のアルバイト等で長続きせず、前職の市役所を退職後、障害者就業・生活支援センターに相談。在宅就労を目指し、週5日の在宅訓練に取り組んでおり、月2回は事業所に通所。</p> <p>季節の変わり目や人間関係により体調を崩すことがあったが、ここ最近では安定。訓練を通して自分がどのような時に体調を崩すのか、傾向を自覚し、その対策を学ぶことができました。また、必要があれば受診し速やかな回復に努めることができます。</p>

■実習概要

	時刻	1日目	2日目	3日目	4日目
実習内容	9:30	実習説明	テープ起こし	入力・集計	RPA
	10:00	オリエンテーション			
	11:00				
	12:00	休憩			
	13:00	テープ起こし	入力・集計	RPA	RPA
	14:00				社員交流会
	15:00	振り返り			
		入力・集計：セミナーの受講者アンケートまとめ（グラフ化） RPA：事務処理の自動化RPAの作成 エクセル同士の転記（立替金清算書→現金出納帳）			
利用ツール	Teams、Zoom、E-mail				
本人コメント					
支援員コメント					
企業コメント	オンラインの実習でも対面の面談と同じレベルで、情報収集する必要があり、本人と話をすることで、言葉にしにくい不安や感情を意識していますが、あくまでも見立てに過ぎず、実習中にひとつずつ確認が必要です。特に、疲労感と集中力の持続についてどのくらいの負荷に耐えられるかわからなかったため1時間に一度10分休憩をとるよう声掛けしました。				